

1. 第5回の検討テーマ

- ① 地域において青少年に豊かな体験活動の場をどのように提供していくか
 - ・ 地域ので青少年を育むための地域資源を活かした体験活動
- ② 青少年が体験活動を通して社会力や生活力を身につけるための内容検討
 - ・ 基本的な生活習慣、社会力、生活力を身に付けるための体験活動
- ③ 地域における青少年の体験活動の場を提供するための地域の青少年団体や組織の活性化策
 - ・ 担い手である地域、地域の青少年団体をどう巻き込むか

2. 第6回の検討テーマ

～家庭の教育力を高めるためにアウトリーチ型展開を！～

－方針と具体的事業展開の検討－

課題；家庭教育の所管が曖昧であり、計画、系統に基づく施策が展開できていない。

個々の事業としては、

- ・ 子育てサロンの運営
- ・ 家庭教育学級の実施

などの事業が行われている。現状は、家庭の教育力向上が必要と思われる家庭が参加しやすい内容ではない。（子どもの教育に関して、意識の高い親が参加している）

そこで、「アウトリーチ型」の視点で方針を定め、家庭の教育力向上が必要な家庭が参加しやすい具体的事業の提案に向けて議論する。その際、次の3つの視点をポイントとする。

- ① 地域ので力の活用（第三の大人との出会いなど）
- ② 親力の向上
- ③ 子どもの社会力向上

3. 意見・提言

- ・ 足立区において家庭教育力を向上させるために必要だと考えること、大切な視点
- ・ 具体的な提案や事例紹介
- ・ 家庭教育向上の支援と、子育て支援の違いについて

4. 第7回の検討テーマ

足立区ので社会教育、生涯学習の方向性について議論していく。

5. 第8回（最終回）の検討テーマ

第5～7回において議論してきた内容を青少年課でまとめる。
これに基づき、更に議論を深め具体化する。

既存事の事業を活用した場合の事業展開（例）

例1) 「地域の青少年団体が運営する既存事業を活用した保護者への働きかけ」

青少年課が足立区の子供会の連合組織である少年団体連合協議会に委託している、「ジュニアリーダー研修会」を家庭教育力向上につなげる。

ジュニアリーダー研修会＝小学校4・5・6年生を対象とし、地域の子供集団のリーダーとして望まれる集団遊びの指導力を身に着ける研修会。親が育成者として参加。

なかなか参加しない親が興味を持ちそうなテーマで親対象とした事業を同時開催する。

〈テーマ案〉 “簡単5分間クッキング&試食会”（無料）「子どもの知力体力が高まるメニュー」等

例2) 「アウトリーチ型イベントを通じて親子で共通体験」

子どもにかかわる大人をつなげる活動団体「codomoDEnet」に委託しているイベント「あそびのフリマ」を小学校の土曜事業として実施する。

西新井第二小学校で実施予定（11月7日）

〈テーマ案〉「飛行機を作って飛ばして遊ぼう！」

〈ポイント〉保護者チーム・地域の大人チームも作って対戦型にする。

〈ねらう効果〉

- ・帰宅後の親子の会話のネタになる。
- ・科学的視点の学びになる。（飛ばしの方の工夫など指導する）
- ・地域の人との交流体験ができる。対人能力が向上する。心の豊かさにつながる。

例3) 「全区的に展開している事業を活用したワークショップやイベントの継続的实施」

住区推進課が行う子育てサロンを活用し、親向けのワークショップや、親子が共同で体験できるイベントなどを継続的全区的に展開する。

従事しているスタッフにも、家庭教育力の向上を意識した関りを持ってもらえるよう、研修会の内容に盛り込む。